

議会モニターからの意見に対する対応状況

第6回モニターアンケート分

(議会だより第40号について)

令和3年10月 滝沢市議会

1 はじめに

滝沢市議会では、「わかりやすい議会」「市民に近い議会」をめざすため、滝沢市議会基本条例第22条の規定に基づき、議会モニターを設置しています。

議会モニターは、議会に対し議会運営に関する意見や改善提言等を行うもので、現在11名の方を議会モニターとして委嘱し（任期：令和4年3月31日まで）、ご意見、ご提言をいただいております。

2 対応について

(1) モニターから寄せられたご意見は、趣旨を損なわない範囲で一部要約している場合があります。

(2) モニターから寄せられたご意見は、氏名を伏した上ですべての内容を全議員に周知し、共有しています。

(3) 寄せられたご意見を集約した上で、特にも議会運営に反映すべきとしたものを中心に協議を重ね、その対応状況をまとめて記載しています。

(4) なお、意見個々に対する議会内での議論の内容等について詳しく知りたい場合は、事務局までお問い合わせください。

3 第6回モニターアンケートの回答数

4件

議会だより第40号（令和3年8月1日発行）について

Q1 特に関心のあった記事をチェックしてください。

- 6月会議のピックアップ 2件
- 委員会所管事務調査報告 2件
- 政務活動費報告 1件
- 一般質問 3件
- 議決一覧 2件
- その他の記事 0件

意見・感想
◆（地区コミュニティセンターへの）大型ディスプレイなどの導入に際して、形だけではなく、本当に一人一人が活用できるサポートが出来るかどうか、そのフォローを考えてムダのないようにしていただきたいですね。
◆賛否が分かれた議案が5議案あるが、何故反対なのかが見てとれません。有権者等の誤解をなくすためにも、その理由を記載した方がいいのではないかと思います。
◆（特に関心のあったもの）請願第1号「安心・安全の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための請願」
◆一般質問の内容の要点をつかみ、紙面の関係で短い文章で良くまとまっていることに感心致しました。ご遺族が行う行政手続きについて窓口の一本化に対しての質問が出てますが、当然考えられる負担に対して議員さんに指摘されるまでもなく担当課独自で市民にとってのより良い方法を見直して改善していくべきではないでしょうか。

Q2 もう少し改善すべきと思う記事をチェックしてください（複数回答可）

- 6月会議のピックアップ 1件
- 委員会所管事務調査報告 0件
- 政務活動費報告 0件
- 一般質問 0件
- 議決一覧 1件
- その他の記事 0件

意見・感想
◆請願第1号の番号の位置がずれています。
◆滝沢スイカを背景にしているが、コメントを読まないとなんか不明でした。

Q3 一般質問で興味のある記事を教えてください（複数回答可）

※今回は、一般質問をした全議員（11名）に対し、ご意見、ご感想をいただきましたので、それに対する議員本人からの回答は別紙にまとめております。

Q 4 記事の中で確認したいことや気になることがありましたらご質問ください（自由記入）

意見・感想
◆一般市民にとって、議会だよりの内容だけでは何がどのように問題になっているのか疑問に思うことが多々あります。例) 調査報告の「交通不便地域」とありますが、どこの地域のどのような不便なのか？と思いました。リンクして調べられるような方法はできないのでしょうか？

Q 5 全体的な感想をお聞かせください（自由記入）

意見・感想
◆とても見やすく、読みやすいです。
◆内容がわかりやすいので、助かります。
◆幼稚園児による市議会だよりを扱ったのは、とてもよいアイデアだと思います。次代を担う子供たちのために議会があるということをPRするいい機会になると思います。各園の協力を得てシリーズ化してもいいと思います。
◆4ページに全国市議会議長会表彰者が紹介されていますが、4名の皆さま長い間のご健闘、ご活躍、誠に疲れ様でした。
◆YouTubeで議会の様子を見て感じましたが、コロナワクチンの申込について柳橋議員さんが一般質問の前に話されていましたが、他市町村の良いところを参考に！申し込みが中々つながらない！等のご意見が一般市民から寄せられているとのこと。当然予想される内容です。もう少し市民の感覚に寄り添った方法が出来たのではないのでしょうか！
◆配布された文章を読み、39号なのか40号なのか迷いましたが、40号について記入いたしました。
【事務局より】 ご指摘のとおり、依頼文書の中の記載が「第39号」となっていますが、正しくは「第40号」の誤りでした。混乱させてしまい、大変申し訳ありませんでした。謹んでお詫び申し上げます。

(別紙)

一般質問に関する意見・感想への回答

① 山谷 仁 議員

(モニターAさん) ※意見は別紙のとおり

【回答】

◆遺族に対する窓口の一本化については、ご指摘の通りその取組強化につながることを期待します。

◆小中学生のタブレットの使い方の件に関しては、先生たちもこれからの訓練も含め研修をしながら生徒に向き合い、授業等をしていくという形になるものと考えておりますので、お話のあった細かい点については、これからも教育委員会の現状を精査したいと考えます。

② 奥津 一俊 議員

(モニターAさん) ※意見は別紙のとおり

【回答】

◆更に精進します。

③ 柳橋 好子 議員

(モニターAさん) ※意見は別紙のとおり

【回答】

◆質問への丁寧なご意見に感謝いたします。今後もいただいたご意見を糧に、市民感覚と議員目線の両輪で努力してまいりたいと思います。

④ 川口 清之 議員

(モニターAさん) ※意見は別紙のとおり

【回答】

◆コロナワクチン接種の質問で同僚議員との調整とありましたが、実際には調整は難しいと考えます。

⑤ 仲田 孝行 議員

(モニターAさん) ※意見は別紙のとおり

【回答】

◆このたびは貴重なご意見を頂き、ありがとうございます。「生理の貧困」の調査は特に行う予定はないとのことで、引き続き議会で取り上げていきます。避難所への備蓄は、防災防犯課及び生活福祉課に確認したところ、10月末に発注、11月初めには備蓄できるとのことでした。

⑥ 小田島 清美 議員

(モニターAさん) ※意見は別紙のとおり

【回答】

◆ご指摘ありがとうございます。今後も市民の意見をしっかり取り入れ、誰もが納得できるような提言を心掛けてまいります。

⑦ 遠藤 秀鬼 議員

(モニターAさん) ※意見は別紙のとおり

【回答】

◆新型コロナウイルス感染症対策に関する質問については、同様主旨の質問議員間での事前調整が必要であったと思います。また、再質問が一般質問の主旨から離れた質問になったことについては、質問の構想に信念が不足していた、事前準備が不足・不備であったと反省しています。

⑧ 井上 仁 議員

(モニターAさん) ※意見は別紙のとおり

【回答】

◆ご感想ありがとうございます。地域問題に関しては、より細かく地元市民目線で今後取り組んでいきたいと思っております。コロナ関係は現在の最大の関心事であり、それぞれ議員各位の視点で取り上げたものです。今後も、様々な立場・観点からみて議論・意見しあえる議会活動を目指したいと考えます。

⑨ 菅野 福雄 議員

(モニターAさん) ※意見は別紙のとおり

【回答】

◆ご意見を参考にして、今後の一般質問につなげていきたいと思っております。

⑩ 齋藤 明 議員

(モニターAさん) ※意見は別紙のとおり

【回答】

◆地域づくりは支援対策の進捗に努め、農業施策は現状の把握と次期プランを図ります。

◆質問は完結明瞭に努め、一問一答の方式を遵守し、次回の質問に活かします。

(モニターBさん)

〇年々休耕田が増えている。担い手確保は必要ですが、それを上回るいきおいで小規模農家が農業をやめているような気がします。もう少し具体的な対策が欲しい。

【回答】

◆小規模兼業農家対策の農業支援施策が必要と考えます。

◆次回の質問に活かします。

⑪ 相原 孝彦 議員

(モニターAさん) ※意見は別紙のとおり

【回答】

◆ご意見、ありがとうございます。若者が滝沢市に定住したくなるよう、市民目線や小さな声を大事にし、今後も活動していきます。

(モニターCさん)

○これからの経済状態を考えると、教育にお金をかけるという考え方がとても重要になると思います。「人」を育てること、社会全体で！！

【回答】

◆滝沢市は自然環境に恵まれ、尚且つICTなど先端の技術を持った企業や大学が立地する、他の市町村から羨ましがられる環境です。このアナログからデジタルまで学べる教育環境を今以上に整備し、子ども達が将来「滝沢で勉強できて良かった」「滝沢に帰りたい」と思い出してもらえよう、しっかり活動していきます。

別紙

6月会議一般質問について

1 総体的な感想

6月会議一般質問における特徴的なところを挙げるとすれば、

- ① 一般的にタブー視されがちな自殺予防対策、女児児童の生理の貧困解消問題について取り上げたこと。
- ② 遺族に寄りそう総合窓口のあり方について取り上げたこと。
- ③ 長年の懸案事項だった中心拠点構想について、当局の見解を引き出したこと。
- ④ 新型コロナウイルス感染拡大防止に関連して、いろいろな観点から複数の議員が当局の見解を質したこと。
- ⑤ 次代を担う子供たちを支援する医療費給付、奨学金問題について質問、提案がなされたこと。

などである。

特に、新型コロナウイルス感染対策については、市民の関心も高いことから6人の議員がそれぞれの観点から質問し、当局の見解を求めた姿勢は評価できる。

一方で、現在市民が最も関心を寄せている新型コロナウイルス感染拡大、特にワクチン接種問題については、市民が納得するような答弁を当局から引き出したとは言い難く、残念ながら市民の不安解消にはつながっていない。

新型コロナウイルス感染は、変異株のまん延・拡大により新たな局面に入ろうとしており、今後も戦いが続く。

市当局もさることながら議員各位もまた、感染防止に向けたさらなる活動が求められると思われるので、引き続き関心を持って市民のために努力していただきたい。

2 具体的事項

(1) 新型コロナウイルス関係について

今回、11人のうち6人の議員が取り上げている。

新型コロナウイルス感染拡大は、市民にとって最も関心がありかつ身近な問題だけに、議員各位がそれぞれの観点で当局と議論したのはよかったと思う。

ただ、質問内容を見てみると同じような内容のものもあり、当局の答弁は結局同じことの繰り返しに終始した(当局の対応としては当然)。

ワクチン接種における市の対応に不満を持つ市民も多く、市が今後どのような対策を講じているのか関心があったはずだが、残念ながら当局の答弁は現状を述べるにとどまり、しかもそのことを深く追及するという議員側の姿勢も不十分であったように思う。

これでは、議員の単なる売名行為と受け取られても仕方ないのではないかと。

そもそも論だが、11人中6人の議員が通告をしているし、その内容も共通するところが多々あったのだから、例えば議会運営委員会などで事前に調整し、会派の代表もしくは2～3人の議員が登壇し市当局の見解を質す方がよかったのではないかとと思う。

新型コロナウイルス問題は、今後も取り上げられていくだろうが、複数の議員が議場でただらと質疑応答を繰り返すよりも、例えば特別委員会を設置するなどして集中的に議論し、当局と一体となって終息に向けた活動をしていくのがいいのではないかと思う。

(2) 質問に係る事前調査不足について

一般質問の中で、当局から具体的な数字を問う場面があるが、それはさらに議論を深めるためのプロセスの中でなされるものはずなのに、残念ながらただ数字を聞いて終わりといってもいいような場面が多々見られた。

もし、単にその数字を知りたいのであれば、議員には質問調査権があるのだから、それぞれの担当部署に赴いて聞き取りをすればいいのではないかと思う。

常任委員会や特別委員会であれば、当局から具体的な数字を聞く場面はあってもいいと思うが、一般質問で単に数字を問うだけというのは、限られた時間が1時間しかない中で実にもったいない気がしてしまう。

しかも、こうした質問が当局にとってはありがたいし、そもそも答弁が楽だ。

議員各位には事前調査をしっかり行っていただき、そのうえで質問内容を精査し本番に臨んでいただきたいと思う。

(3) 当局の見解を問う質問について

(2)にも関連するが、何かにつけて「当局の見解」を問う質問が多すぎる。

当局は基本的に法律や条例に基づいて業務を行っているので、見解を聞かれてもその範囲内でしか答弁することはできない(そもそも論だが、そのことは法律の中に書いてある)。

ただ、法律や条例は当然完全なものではないので、必要に応じて改正することはやぶさかではない。

そうした観点でのいわゆる提案型の質問をするのであれば理解できるが、「ただ聞いただけ」という形で終わっているケースが少なくないよう感じた。

「当局の見解」を求めるのであれば、議員自身の考え方もしっかり当局に提案するべきだと思う。

(4) その他

① 関連質問について

関連質問は一問一答が原則だが、その際の前置きがやたら長く、質問の意図がだんだんぼやけてくる場面が散見された。

せっかく、1回目の質問で論点を明らかにし、当局から答弁を引き出ししているのだから、その答弁書を読むことで論点はさらに明確になるはずなので、それに関連する質問はむしろ完結明瞭となるのではないだろうか。

にもかかわらず、関連質問での前置きがやたら長くなるのは、結局のところその準備が十分になされていないことを物語っている。

一般質問を通告するにあたって、やはり関係部署に赴き担当課長等から見解を聞き出すなどの事前準備が必要なのではないかと思われる(担当課長等はむしろそのことを願って

いる)。

② 通告外の質問がなされている

議長から通告外だとして「質問を変えるように」と何度も注意される場面が散見された。

通告制度についていろいろな意見があることは承知しているが、少なくとも議会活動の指針ともいえる会議規則にその規定があり、かつ通告外の質問はできないとされている以上、議員はそのルールに従うべきである。

にもかかわらず、通告外の質問がなされるということは、一般質問の通告に当たっての事前準備が十分になされていないということを物語っている。

今一度、事前準備の重要性を理解していただきたいと思う。

3 個別の見解

(1) 山谷仁議員

① 行政サービス向上について

人が亡くなることにより発生する各種手続きの窓口を一本化することについての質問は、遺族に寄りそうという観点から的を射た提案だったと思います。

市では現在のところ一本化する予定はないようですが、今回の質問で少なくとも最初の窓口となる市民課において適切なアドバイス(関係部署の紹介)をするという仕組みが強化されることにつながったのではないかと思います。

② 小中学生のタブレット授業について

今年度から始まるタブレット授業は初めてのことであり、各学校において混乱が生じないように適切な対応を求めたのはよかったと思います。

ただ、関連質問を含めて細かい数字を質問する場面がありましたが、事前に教育委員会に赴いて確認できる内容であり、それを踏まえての教職員の対応を質問した方がよかったと思います。

(2) 奥津一俊議員

① 建設工事・建設関連業務委託の契約に係わる入札契約方式について

適正な入札契約方式について詳細に当局に見解を求めています。市当局は入札に当たっては最も適切で有利な方法を検証し、そのうえで執行しているものと思われます。

そうした中、今回の質問は当局の見解を聞いているだけで、具体的にどのような方法が望ましかというような質問は、関連質問を含めてあまりなされていないように感じました。

そもそも入札や契約は、地方自治法をはじめ各種基準に基づいて行われているので、それらを見ていただければ、市当局が行っている方式はある程度明らかになるはずで

ただ、市民の立場からすると、入札・契約方法もさることながら、その契約により私たちの生活にどのように影響してくるのかに関心があることも事実で、もう少し市民の目線で質問されることを望みます。

② 本市が取り組むべき新型コロナウイルス感染症対策について

新型コロナに関しては、前述の通り。

なお、繰り返しになりますが、同僚議員と事前に話し合い、調整してもよかったのではないかと思います。

(3) 柳橋好子議員

① 自殺予防対策について

自ら命を絶つ人にはその人にしかわからないいろいろな事情があることも事実で、できればその要因を取り除いてあげることができればと常々思っています。

市では各部署において、その痕跡の有無について情報収集に努め共有することで、少しでもその数を減らそうと努力しています。

そうした中、具体的な例を挙げて自殺を予防する対策を提案したこと及び自死遺族に対するケアの重要性について触れたこともよかったと思います。

ただ、自殺の問題と新型コロナとを絡めての質問には、少し無理があったと思います。

新型コロナはここ2年くらいの問題であり、直ちに結びつけるにはまだデータが足りないと思うからです。

とはいえ、その可能性もあるということで警鐘を鳴らしたという点では、よかったかと思えます。

② 生活道路の整備について

市道・洞加鬼越線の整備については長年の懸案事項であり、定期的に出てくる内容です。

技術的には決してやってやれない事業ではないのですが、市内各地に張り巡らされている市道網を考慮すると、限られて財源の中ではどうしても優先順位を付けざるを得ず、なかなか順番が回って来ないのかなというのが正直な感想です。

しかしながら、地区住民の生活道路という観点から言えば全くその通りなので、引き続き地域住民の意見を伺いながら市当局に要望していかれることを望みます。

(4) 川口清之議員

① 新型コロナウイルスワクチン接種と社会的検査について

② 新型コロナウイルス感染症による事業者への影響と支援について

新型コロナに関しては、前述の通りですが、コロナワクチン接種について踏み込んだ質問をなされたのはよかったと思います。

市からは明確な答弁を引き出すことはできませんでしたが、多くの市民にはワクチンがいつ接種できるのだろうという不安が絶えずありますので、その代弁者になっていただけたように思います。

なお、繰り返しになりますが、同僚議員と事前に話し合い、調整してもよかったのではないかと思います。

(5) 仲田孝行議員

① 国分団地内市道の段差解消板の撤去について

段差解消板は安全に自宅に出入りするために設置するものですが、冬季間は除雪の妨げ

になるという側面もあり、国分団地に限らず市内にある多くの団地に共通した問題です。

国分団地の場合は、住民と十分に話し合いを行ったうえで撤去したとのことのように、今後はせめて冬季間だけでも一時的に撤去するといった工夫も必要ではないかと思いました。

② 女子児童・生徒の生理の貧困の解消について

タブー視されがちな女子児童・生徒の生理の問題について、取り上げたのはよかったですと思います。

教育長の答弁では、本市ではそのような事象はないとのことでしたが、調査に当たって子供たちがどこまで正直に答えたか疑問ですし、その調査ほどの程度の頻度で行われているかも疑問です。

また、今後においても引き続き調査が行われるのかについても明らかではありません。

すでに255もの自治体で何らかの対策を講じているということでしたが、京都市の例を挙げて教育委員会の見解を質したのはよかったですと思います。

そうでなくても多感な年ごろで、なかなか表に出にくい時期でもありますので、むしろ大人の方から積極的に働きかけることが大切だと感じました。

加えて、災害発生時の避難所にも生理用品を常設するという提案がなされていましたが、市当局も前向きに検討するとの答弁でしたので、今後整備状況を確認していくことを望みます。

(6) 小田島清美議員

① 小規模校における教育の充実について

本市においては、少なくとも小規模校と大規模校との間に教育格差があるとは思っていませんが、多くの自治体がそうであるように、少子化の影響で学校の統廃合が本市においても現実のものになりつつあるのではないかと考えています。

議員ご指摘のとおり、将来を担う子供たちのことを最優先に考え、進めていくことが肝要であると思います。

② 盛岡広域医療圏における子ども医療費給付額の負担格差について

子供を安心して生み育てる環境を整えることは、どの自治体にも課せられた使命であると思います。

ただ、限られた財源をどのように配分するかは、その自治体の特殊性を十分に考慮して行われるものだと思いますので、単純に医療費給付額だけをとらえて格差があるとするのは少し無理があると思います。

また、質問の中で、「他市町村から転入してきた子育て世代の方々から『子供の医療費が高い』という声をよく聞きます」と述べておられますが、本当に全員の方がそう述べているのでしょうか。

もちろん、そうした声があるのであれば尊重されなければなりません、あたかも全員であるような誇張した表現は適当でないと思います。

(7) 遠藤秀鬼議員

- ① コロナ禍における新型コロナウイルス感染症対策及びその実行状況と効果（成果）について
- ② コロナ禍による経済活動について

新型コロナに関しては、前述の通りですが、コロナワクチン接種の対応と市内経済への影響にまで踏み込んだ質問がなされたのはよかったと思います。

市からは必ずしも明確な答弁を引き出すことはできませんでしたが、多くの市民にはワクチンがいつ接種できるのか、経済動向がどうなるだろうという不安が絶えずありますので、その代弁者になっていただけたように思います。

なお、繰り返しになりますが、同僚議員と事前に話し合い、調整してもよかったのではないかと思います。

(8) 井上仁議員

- ① 市内における地域拠点について

ふるさと交流館について、地元住民等を含めた有効活用の提案がなされましたが、市当局はより使いやすい施設にするため、所管替えも視野に入れながら駐車場整備も進めるといふ答弁でしたので、地元の意見・希望が通った形であり、よかったと思います。

- ② コロナ禍における市内経済対策について

新型コロナに関しては、前述の通りですが、コロナワクチン接種の対応と市内経済への影響にまで踏み込んだ質問がなされたのはよかったと思います。

市からは必ずしも明確な答弁を引き出すことはできませんでしたが、多くの市民にはワクチンがいつ接種できるのか、経済動向がどうなるだろうという不安が絶えずありますので、その代弁者になっていただけたように思います。

なお、繰り返しになりますが、同僚議員と事前に話し合い、調整してもよかったのではないかと思います。

(9) 菅野福雄議員

- ① 新型コロナウイルスワクチン接種について

新型コロナに関しては、前述の通りです。

繰り返しになりますが、同僚議員と事前に話し合い、調整してもよかったのではないかと思います。

- ② 自治体クラウドについて

平成23年3月11日に発生した東日本大震災の教訓を生かすため、危機管理の一環で他市町村の例を挙げながら自治体クラウドの活用を提案されていましたが、その趣旨には賛同するものです。

市当局でも現在、ご質問の趣旨に副うべく鋭意努力しているものと思いますので、引き続き進捗状況を含めて調査検証されることを希望します。

③ ふるさと納税について

自主財源の確保策の一環で、ふるさと納税の活用を勧めることについては、全くその通りだと思いますが、一方で全国的にみてやや返礼品による獲得競争が激化、総務省から自粛を求める指導も出ております。

滝沢市に対するふるさと納税は、むしろ本来の趣旨に副うものではないかと感じております。

もちろん、金額は多いに越したことはありませんが、それだけではないということです。

なお、今回の議員の質問で改めてふるさと納税の意義について市当局はその重要性を認識したはずですから、引き続き見守っていただければと思います。

ところで、残念なことがありました。

それは、議員が関連質問の中で徐々に感情的になっていき、「危機感が希薄」だとして、市当局の方々を誹謗中傷していると受け取られても仕方ないような発言があったことです。

しかも、議長から通告外だとしてたびたび「質問内容を変えるように」と注意される場面もあり、議会軽視としか思えない言動がありました。

議場は本来、負託を受けた市民のために当局と議会が一体となって進むべき道を議論する場であることをされています。

議場においては、市当局はもちろん議員は対等の立場で、冷静沈着に行動すべきものと思います。

もし、あの状態で当局側が反問権を行使するようなことがあれば、おそらく議員のそのお立場はたいへん苦しいものになったことでしょう。

節度ある行動を望みます。

(10) 斉藤明議員

① 地域づくりについて

市総合計画基本計画の中の地域別計画について、次期総合計画に際し見直しを図るべきとの質問に対し、市当局は実情に即し見直しをしていくとの答弁でしたので、議員の意図するところは理解されたのではないかと思います。

人材育成の重要性についても同様です。

いよいよ、次期総合計画の検討が始まるようですので、機会あるごとに進捗状況を把握するとともに、中長期的な展望に立っての提言もされることを望みます。

② 農業振興、観光物産振興について

本市の基幹産業の一つである農業振興について取り上げましたが、私も農業の一端を担っているだけに大変興味を持って聞いていました。

農業振興と言いつつも昨今の農業政策は農地の集約化、集団化そしてブランド化に走り、高齢化の進む農業者には必ずしも希望の持てるものになっていません。

議員にはそのあたりの質問を期待したのですが、その点まで踏み込んでいただかず残念

に思っています。

ところで、質問に当たって通告文書の読み間違いがいくつかありました。

また、関連質問においてもあまりにも前置きの部分が長すぎ、何を質問しようとしているのかわからなくなることがありましたので、完結明瞭に質問されることを望みます。

さらに言えば、一問一答が原則なのに複数の質問がなされることもありましたので、質問内容をよく精査して臨まれることを希望します。

今回、農業委員会委員長も登壇し答弁されましたが、それに対する議員からの関連質問が全くありませんでした（確かに、一部事務局長の答弁はありましたが、委員長のお考えも聞いて見たかったと思いました）。

農業委員会は法律上、行政から独立した機関ですから、農業委員会としてこれからの滝沢市の農業のあり方、進むべき方向性をどのように考えているのか質問してもよかったですのではないのでしょうか。

(11) 相原孝彦議員

① 「奨学金の肩代わり」について

次代を担う子供たちが分の将来の目標に向かって高校、大学、専門学校などで学びたいと思っても、家庭の事情等でその機会が失われるようなことがあるとすれば、これは残念なことです。

それだけに、奨学金制度というのはそうした子供たちにどれだけ勇気を与えているか計り知れないものがあります。

ただ、社会人になるとその奨学金は当然のことながら返済する義務が生じますので、それが重荷になっていることも事実です。

議員の質問の中にもあったように、その一部でも肩代わりし負担を軽減させるような制度があれば、子供たちは安心して学ぶことができることでしょう。

残念ながら、市当局から明確な答弁を得ることはできませんでしたが、少子化の解消、定住促進にもつながる方策の一つだと思いますので、引き続き取り上げてほしいと思います。

② ビッググループ滝沢の指定管理について

ビッググループ滝沢は、市の中心拠点の象徴であり、市民の憩いの場でもあります。

より有効に活用するためにも、指定管理は必要な施策だと思いますが、そのためには厳正かつ公平に行われなければなりません。

今回の指定管理者を選定するにあたっての一連の手続きに落ち度はなかったと思いますが、これからは契約のとおり適正に指定管理がなされているかが大切だと思いますので、引き続き関心を持って見守っていただくことを望みます。

以上